

交通空白地域における施設連携型オンデマンド交通運行と 乗り継ぎ情報提供を通じた交通サービスネットワーク構築事業

[実施主体]

小田急電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社

[対象地域]

東京都町田市山崎団地周辺

[実施予定時期]

令和3年1月中旬～令和3年3月中旬

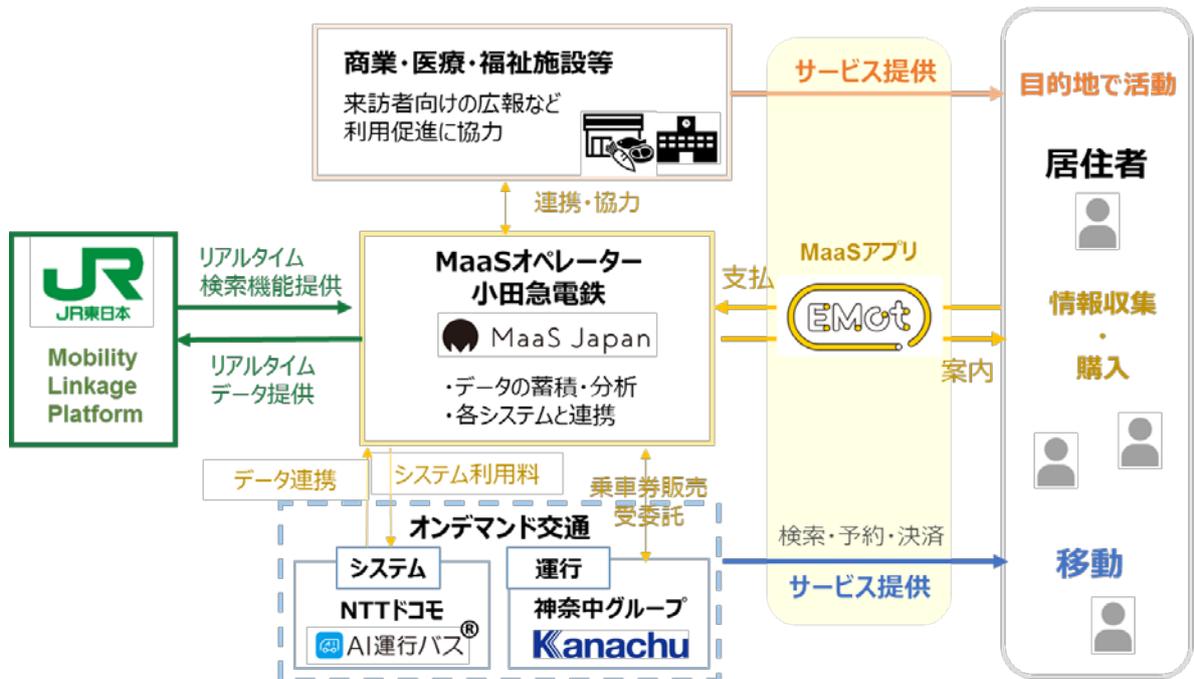
[実施内容]

○目的

対象地域内に、より高い利便性の公共交通サービスと、複数の公共交通をシームレスに乗り継ぎやすくするための経路案内サービスを提供することで、人々の暮らしやすさを向上させ、地域全体の活性化を目指す。

○取組概要

- ・地域の居住者や地域内の各種施設利用者の利用を想定し、スマホアプリから簡単に配車・支払いができるような「オンデマンド型の交通サービス」の実証運行を行う。
- ・同サービスを利用できるクーポンの発行などを目的地となる各種施設と連携して実施し、サービスの活用を促すことで、地域への認知と定着を目指す。
- ・複数の鉄道事業者とバス事業者のリアルタイム情報を組み合わせた経路案内を、オンデマンド交通の配車と同じアプリ等で提供する。



※[採択先プレスリリース](#)

東京多摩エリアにおける 生活利便性向上を実現する MaaS の実効性検証プロジェクト

[実施主体]

京王電鉄株式会社

[対象地域]

東京都多摩市を中心とする東京多摩エリア

[実施予定時期]

令和3年1月～令和3年2月

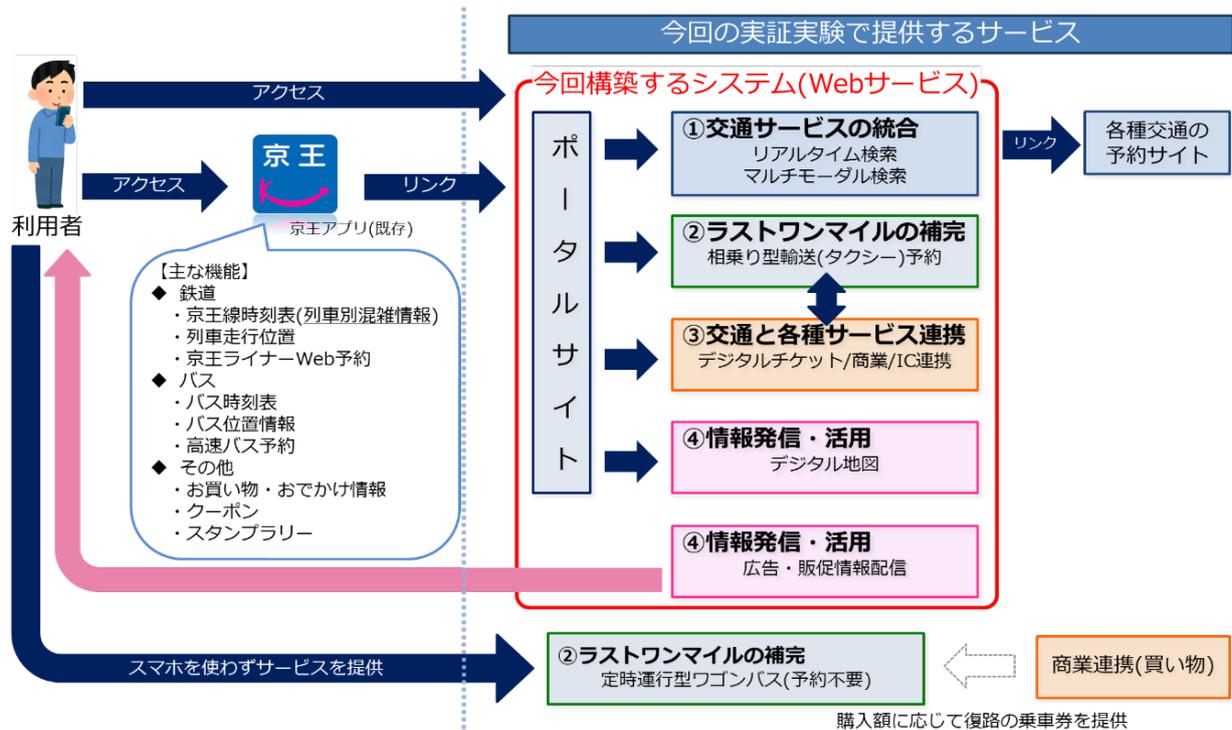
[実施内容]

○目的

交通・生活の利便性を向上し、東京多摩エリアを高齢者・若年層・ファミリー層の持続的な居住を可能とする便利な街にするとともに、自治体や企業と連携しながら街の活力を高める。

○取組概要

- ・リアルタイム検索やマルチモーダル検索、各種交通予約といった交通サービスの統合を行う。
- ・聖蹟桜ヶ丘駅(多摩市)と市内住宅地を結ぶ定時運行型ワゴンバス等によりラストワンマイルを補完する。
- ・聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターの買物券や鉄道乗車券のセット販売等により、デジタルチケットを活用した交通と各種サービスの連携を行う。
- ・おすすめスポットのデジタル地図での発信等により移動を喚起するとともに、利用実績に基づいた分析を大学や他企業と連携して行い、今後の施策に活用する。



※採択先プレスリリース

東京臨海副都心エリアにおける With コロナ時代の観光 MaaS 実証実験 ～VR/AR を活用したおでかけ需要喚起と、MaaS による安全・安心・快適な移動の実現～

[実施主体]

株式会社ナビタイムジャパン、KDDI 株式会社

[対象地域]

東京臨海副都心エリア（お台場など）

[実施予定時期]

令和3年1月～令和3年2月頃

[実施内容]

○目的

「エリアまでの移動利便性の向上」・「エリアでの回遊性向上」の解決に加え、With/After コロナでの移動需要減少に対する課題「エリアへの安全安心なおでかけ喚起」も解決する MaaS を、東京臨海副都心で展開する。

○取組概要

- ・特設サイトでの、お台場のイベントと連携した VR/AR 体験や、混雑回避を可能とする交通・施設の混雑情報を提供することで、安全安心なおでかけ喚起を図る。
- ・おでかけスポット情報、クーポンやマルチモーダルルート検索の提供に加え、ゆりかもめ・りんかい線の 1 日券・バイクシェアの決済を可能とすることで、移動利便性向上や回遊性向上を図る。
- ・東京都内の他エリアへの展開に向け、ユーザー需要や事業性の検証、実現に向けた課題整理を行う。

東京臨海副都心 MaaS

